

目的・内容・方法

どのように展開すれば？



① モデリング

② 強化

③ 行動形成

④ 反復学習

⑤ 般化

① モデリング

他者を観察し模倣するだけで行動を学習する（外的強化がなくても）

【3つの効果】

1 観察学習による行動獲得

- ・ モデルの行動を見て新しい行動を学習する

2 制止・脱制止

- ・ すでに学習していた行動を行わなくなる
- ・ しないようにしていた行動を行うようになる

3 反応促進

- ・ 学習していた行動がより頻繁に行われるようになる



療育活動の成果を高める原理

① モデリング

② 強化

③ 行動形成

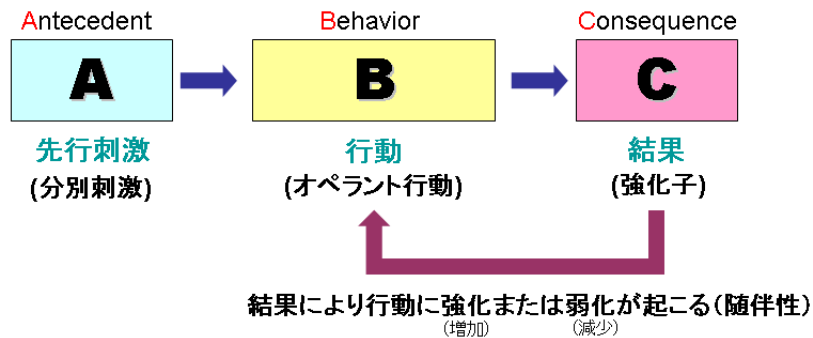
④ 反復学習

⑤ 般化

② 強化

その行動をまた実行する可能性を高めるため、
行動に対して、好ましい結果を与えること（強化子・好子）

三項随伴性(ABC分析)



② 強化

【好子・強化子の種類】

- ・ 生得性好子（無条件）・・・生命維持に関する基本的欲求を充足
食べ物、飲み物、におい、味、睡眠、性的刺激 等
- ・ 習得性好子（条件性）・・・ごほうびであることを後の学習で身に付けた
タブレットでゲーム、お出かけ、買物、言語的賞賛 等
- ・ 般性好子・・・この強化子が別の強化子を得るために使用される
お金、ごほうびシール等
- ・ 社会的好子・・・人とのかわわりが強化子として機能した場合

① モデリング

② 強化

③ 行動形成

④ 反復学習

⑤ 般化

③ 行動形成 シェーピング

- ・ 望まれる目標に向けて連続的にステップを踏んで強化を行うこと
- ・ 目標行動により似ている行動を次々と強化していく手続き



A : ひとつのスキル(能力)は、どのようなスキル(能力)から成り立っているのか？

B : ひとつのスキル(能力)は、どのようなスキル(能力)が身についてできるようになるのか？

① モデリング

② 強化

③ 行動形成

④ 反復学習

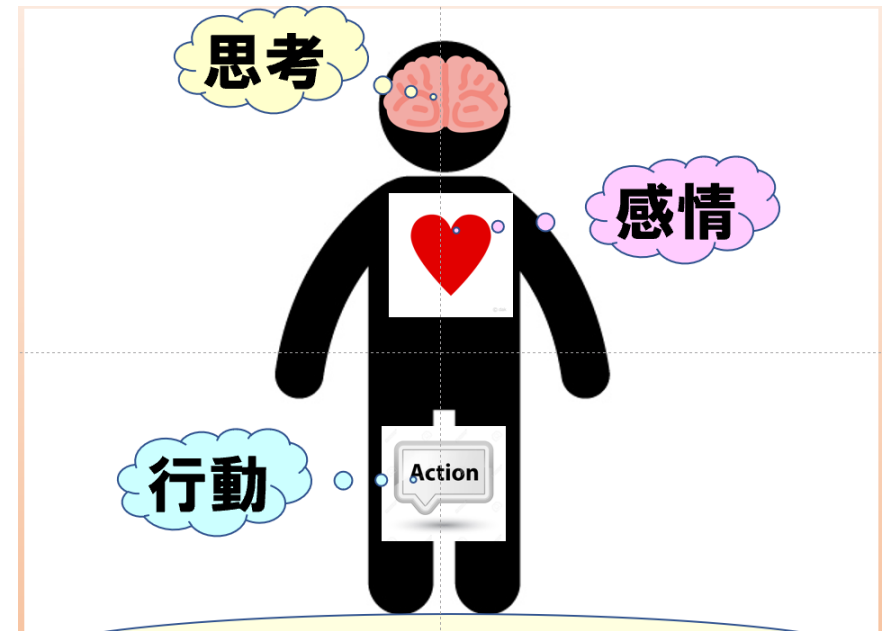
⑤ 般化

④ 過剰学習（反復学習）

あるスキル(能力)を自動的にできるまで繰り返して練習すること
(繰り返し練習する・意識してやることを繰り返えそう)

ロールプレイの繰り返し **(体験する)**
(実際の場面や状況を想定して、
役割を演じることで実践的なスキルを
学ぶ手法)

- 手順
- ・ 個人ごとの役割を決める
 - ・ 目的や場面を設定する
 - ・ フィードバックをする



① モデリング

② 強化

③ 行動形成

④ 反復学習

⑤ 般化

⑤ 般化

ある場面で獲得されたスキル(能力)をそれ以外の場面でも使えるようになること
(実際の場面でできる・応用する)

習慣とは

十分に学習した行動や自動化された行動系列のうち、比較的特定の状況で生じ、時間がたつことで運動性の反射となり、動機付けや認知の影響を受けなくなり、意識的な意図をほとんど、あるいはまったく伴わずに実行されるもの。

習慣化の特徴

- ・ その行動をするのが当たり前を感じる。
その行動をしない方が気持ち悪いと、違和感を覚えることもある。
- ・ 意志の力が必要ない。無意識のうちにやっていることもある。
- ・ がんばらずにずっと継続できる。
むしろやめようと思っても、やめられない。

基本的生活習慣（きほんてきせいかつしゅうかん）

基本的生活習慣は、子どもが心身ともに健康に育つために生活の基盤となるもので、日常生活の基本となる食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱の5つの生活習慣のこと。

「まいと」では、食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱の基本的生活習慣に挨拶・片付けを加え指導しています。

小学校就学までの目標。

- * 食事は、箸を使って自立して食事をする、好き嫌いなく食べることができるようにする。
- * 睡眠は、決まった時間に寝起きし質のよい睡眠がとれるようにする。
- * 排泄は、一人ででき後始末も一人でできるようにする。
- * 清潔は、手洗い、うがい、歯磨き、入浴など、体の清潔を自ら保つことができるようにする。
- * 衣服の着脱はボタン・ファスナー・リボンなどがあっても一人で着脱できるようにする。
- * 状況にあった挨拶ができるようにする。
- * 身の回りの片付けが一人でできるようにする。

日常生活の指導 年間計画

【目標】

- ・ 1 「基本的生活習慣」…日常生活に必要な身辺自立をする
- ・ 2 「健康・安全」…健康で安全な生活をする
- ・ 3 「遊び」…友達とかかわりをもち、きまりを守って遊ぶ
- ・ 4 「交際」…身近な人と自分とのかかわりが分かり、簡単な応対などをする
- ・ 5 「役割」…集団活動に参加し、簡単な役割を果たす
- ・ 6 「手伝い・仕事」…日常生活で簡単な手伝いや仕事をする
- ・ 7 「きまり」…日常生活に必要な簡単なきまりやマナーを守って行動する
- ・ 8 「日課・予定」…日常生活でおよその予定が分かり、見通しをもって行動する
- ・ 9 「金銭」…簡単な買い物をして金銭の扱いに慣れる
- ・ 10 「自然」…自然や生き物への興味や関心を高める
- ・ 11 「社会の仕組み」…家族や身近な地域の様子に興味や関心をもつ
- ・ 12 「公共施設」…身近な公共施設や公共物などを利用し、その働きを知る

※段階別目標について

- 1 段階…教師と一緒に行う
- 2 段階…教師の援助を受けながら
- 3 段階…自分で

1. 続けること自体を目標にする（最重要）
2. 具体的かつ客観的な目標にする
3. 今すぐにはじめる
4. 極限までハードルを下げて簡単な目標にする
5. イレギュラーに対応するルールを作る
6. やるタイミングを具体的に決める
7. 別の習慣にくっつける
8. 毎日やる
9. 個人目標を持って楽しむ
10. 周囲に宣言する

11. だれかと一緒にやる
12. 習慣化できたら目標を再設定する
13. 自分につらい思いをさせない
14. 失敗するのが難しいほど小さく始める
15. 意志の力ではなく脳内物質の力を使う
16. 貼り出しでワーキングメモリをサポートする
17. 数字を記録する
18. 快感を見つけ大げさに感じる
19. 他人の力を借りる



療育活動の成果を高める原理

⑤ 般化

生活習慣化

- ・ **ステップ1：**
習慣化したい行動を5W1Hで決める
- ・ **ステップ2：**
習慣化実現の見通し/デメリットチャートを作る
- ・ **ステップ3：**
継続するための工夫を3つ決める



◎Pros	×Cons
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

▼ 例：習慣化したい行動の5W1H

何を (What)	腹筋8種トレーニング15分
誰が (Who)	私
いつ (When)	毎朝、出勤前に
どこで (Where)	寝室の床に敷いたトレーニングマットの上
なぜ (Why)	自信を持てる身体になるために
どうやって (How)	YouTubeの15分8種集中トレーニングの動画を見ながら

見通し	デメリット
● 自信を持って海に行ける ● 姿勢が良くなる ● 基礎代謝が上がって太り低くなる ● 便秘解消になる ● 服が似合う ● インスタ映えする ● パートナーに褒められる	● 朝の時間が慌ただしくなる ● 腰を痛めるかもしれない ● 下の階に物音が響く

モチベーションって

TEMONA

モチベーションと動機づけ

動機づけの種類



社会的動機付け

外発、内発、達成を包含する

外発的動機づけ

処遇、待遇、金銭、義務

内発的動機づけ

好奇心、感情性、挑戦性、認知性

達成的動機付け

より目標達成をしようとする

生理的動機付け

食べたい、寝たい、排泄したい

社会的動機付け

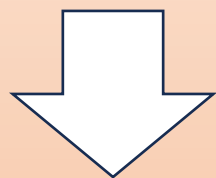
- 遊戯動機**…楽しさや面白さを求める。緊張をやわらげ、冗談やゲームを好む。
- 理解動機**…理論的な考えを求めたり、物事の仕組みを理解しようとする。
- 変化動機**…新しいことを好み、流行に敏感で変革を求める。
- 秩序動機**…安定、秩序、伝統、などを大切にする。整理、整頓、正確さを目指す。
- 達成動機**…努力して高い目標をやり遂げる。才能を生かし自尊心を高める。
- 親和動機**…好きな人の近くにいたい、助け合いたいと思う動機。友情を重視する。
- 屈辱動機**…自分を責め、非難や罰を受け入れたいと思う。敗北を認める。
- 攻撃動機**…言葉や力を使って相手を屈服させたい、反対を克服したいと思う。
- 自律動機**…束縛、強制、横暴な権威、因習を嫌い、自由と独立を求める。
- 支配動機**…人の上に立ちたい、説得や命令によって人に影響を与えたいと思う。
- 服従動機**…優れた人の命令に従い、その人の言う通りにしたいと望む。
- 顕示動機**…目立ちたい、人を驚かせたり、楽しませたりして印象づけたいと思う。
- 援助動機**…弱い者、困っている者などを助け、慰め、励ましたいと思う。
- 依存動機**…甘えたい、助けてもらいたい、愛されたい、同情されたいと思う。
- 異性愛動機**…異性を求め、恋愛関係や性的関係に関心を向ける。
- 屈辱回避動機**…失敗して軽蔑されることを避けたいと思う。自己防衛的な思い。



支援員「いまから
〇〇やるよ～」



子ども「え～、やる
の～・・・」



子ども「ねえ、〇〇
させてよ～」



支援員「え～、どう
しようかなあ～」
(^-^;



「面白い」とは？

脳のどこ？を
反応させようと
するのか？

「PRESIDENT」 2019.12.13より

ポイント ①

療育活動内容を企画する



【療育活動内容を企画する】

【活動計画を立てる】

活動と指導をコラボする絶好の機会！

事前

- ・ 活動当日を迎えるまでの準備（制作や下調べなど）
- ・ できるようになっておいてほしいことのトレーニング
- ・ 場所の確保や準備物の借用、購入予算などの事前準備

事中

- ・ 当日の活動の主な流れ
- ・ 役割分担
- ・ 準備するもの

事後

- ・ 活動後の振り返りをする場の設定
- ・ 活動の成果を発表する場の設定
- ・ 次の活動につながる、発展する方向性をさぐる

【療育活動内容を企画する】

活動企画書づくりのポイント

- 1 なぜ、その企画（＝療育活動）をするのですか？
 - 目的の明確化
 - ・子どもたちの実態
 - ・目指す姿
- 2 どんな活動を計画するのですか？
 - 活動のもつ意味
 - ・体験的活動
 - ・ソーシャルスキルトレーニング
- 3 活動をどのように展開するのですか？
 - 子どもたちの動機付け
 - ・内発的動機付け
 - ・外発的動機付け
 - ・社会的動機付け
- 4 どのように計画・準備するのですか？
 - 実施までの段取り等
 - ・企画の承認（いつまで？）
 - ・借用や購入予算、制作等の計画
 - 過去の資料の参考
 - ・活動後の資料整理の工夫と徹底
- 5 どのように支援するのですか？
 - 一人ひとりの子どものアセスメントと個別支援計画から
- 6 シミュレーションをやってみましょう！

活動計画書

【活動名】

【ねらい】

【準備物】借用・購入、予算等

【活動の展開】

	活動及び指導の内容・時間配分等	支援の留意点
事前		
事中		
事後		

【療育活動内容を企画する】

構成的グループ・エンカウンター 活動例（計画案）

資料編②

(1) 療育活動名 フルーツバスケット

(2) ねらい

- ① 遊びのルールを理解し、集団遊びであるフルーツバスケットを楽しむことができる
- ② 「おに」へのインタビューを通して、他児の話に注目することができる

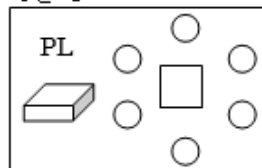
(3) 準備（もの・場）

梨・林檎・柿各1個 + 一口サイズ爪楊枝付き（人数分）

果物首かけ絵カード（3種類×5枚くらい）

果物場絵カード（3種類+フルーツ盛合×5枚くらい）

椅子（人数分） 爪楊枝ごみ入れ



(4) 活動の流れ

時間	活動	活動上の留意点	支援上の留意点
1	場所を自由に選び、椅子に座って待つ		
2	秋の果物を見て遊びへの興味をもつ	・果物を見せながら、声かけする 「今日はこれを使って遊びます。 遊びたい人！」	・指示への注目ができるように声掛けする ・説明に注目するように声掛けする ※場合によってはモデリングに参加させる
3	チーム決めをする	・一人ひとり順番に「好きな」果物を選ばせ、絵カードを首にかける	
4	ルール説明を聞く	・モデリングをしながら説明する 【ルール】 ①PLから引いたカードを見せながら果物の名前を言う ②移動する際、雑巾を一旦踏む ③座ることができたらカードにシールを貼ってもらう ④「おに」はPL、もしくは他児から質問やインタビューを受ける ・一度練習をやってみる	・ルールの理解が難しい子に、スタッフが直接支援する ※この際、教えるのではなく考えさせることを原則とし、不十分な部分

5 ゲームをする

- ・「おに」がカードを引く＆言う→すわる→シール→「おに」インタビュー→「おに」がカードを…のサイクルについて、子どもたちの楽しみ具合、ルールの理解具合をみながら繰り返す
※飽きているようだったら「なんでもバスケット」（〇〇の人！）へバージョンアップする

- のみフォローする
・話に注目しているかを観察し、直接指導する
※場合によってはインタビュアーにさせる

6 ゲームを振り返る

- ・獲得したシールを数え、勝敗を確認する
・多い子から順番に、インタビューして感想を得ながら果物を食べる
【感想インタビュー】
Q：楽しかったか？
Q：どうして楽しかったのか？
・まとめとして、「おに」になった他児が話していたインタビュー内容をクイズ形式で出題し、よくできていた子を賞賛する

- ・数確認が難しい子には直接支援する（間違いないように）
・まとめとして「ルールを守ると楽しい」を感じ取らせたい

ポイント ②

療育活動内容を系統化する(並べる)



療育活動を系統化する際の軸

活動のねらい

- 発達的特質
- 個人的特質

活動の形態

- 集団活動
- 個別活動
 - ・ 身辺自立スキル
 - ・ ソーシャルスキル

系統の期間

- 年齢（発達）
- 学校種別
- 年・月・週

その他

- 将来の進路

放課後等デイサービスガイドライン(令和6年7月)(詳細版④)

第3章 放課後等デイサービスの提供すべき支援の具体的内容

1. 放課後等デイサービスの提供に当たっての留意事項

こどもの育ちの連続性を意識した支援が求められていることから、放課後児童クラブ等との連携及び併行利用や移行に向けた支援を行うために、放課後児童クラブ運営指針の「育成支援(放課後児童クラブにおけるこどもの健全な育成と遊び及び生活の支援)の内容」を理解するとともに、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領及び特別支援学校高等部学習指導要領についても理解し、支援に当たることが重要である。

放課後児童クラブ運営指針も参考に、目安として**4つの区分に分けて、留意事項を示す**。なお、この区分は、同年齢のこどもの均一的な発達の基準ではなく、個人差や障害の特性等によりその発達過程は様々であることを十分に理解した上で、あくまでも一人一人のこどもの発達過程を理解する目安として捉えるべきものである。

(1)	おおむね6歳～8歳 (小学校低学年)	○ こどもは学校生活の中で、読み書きや計算の基本的技能を習得し、日常生活に必要な概念を学習し、係や当番等の社会的役割を担う中で、自らの成長を自覚していく。一方で、同時にまだ解決できない課題にも直面し、他者と自己とを比較し、葛藤も経験する。 ○ 遊び自体の楽しさの一致によって群れ集う集団構成が変化し、そこから仲間関係や友達関係に発展することがある。ただし、遊びへの参加がその時の気分に大きく影響されるなど、幼児的な発達の特徴も残している。 ○ ものや人に対する興味が広がり、遊びの種類も多様になっていき、好奇心や興味が先に立って行動することが多い。 ○ 大人に見守られることで、努力し、課題を達成し、自信を深めていくことができる。その後の時期と比べると、大人の評価に依存した時期である。
(2)	おおむね9歳～10歳 (小学校中学年)	○ 論理的な思考や抽象的な言語を用いた思考が始まる。道徳的な判断も、結果だけに注目するのではなく、動機を考慮し始める。また、お金役割等の社会の仕組みについても理解し始める。 ○ 遊びに必要な身体的技能がより高まる。 ○ 同年代の集団や仲間を好み、大人に頼らずに活動しようとする。他者の視線や評価に一層敏感になる。 ○ 言語や思考、人格等のこどもの発達諸領域における質的变化として表れる「9、10歳の節」と呼ばれる大きな変化を伴っており、特有の内面的な葛藤がもたらされる。この時期に自己の多様な可能性を確信することは、発達上重要なことである。
(3)	おおむね11歳～12歳 (小学校高学年)	○ 学校内外の生活を通じて、様々な知識が広がっていく。また、自らの得意不得意を知るようになる。 ○ 日常生活に必要な様々な概念を理解し、ある程度、計画性のある生活を営めるようになる。 ○ 大人から一層自立的になり、少人数の仲間です「秘密の世界」を共有する。友情が芽生え、個人的な関係を大切にできるようになる。 ○ 身体面において第2次性徴が見られ、思春期・青年期の発達の特徴が芽生える。しかし、性的発達には個人差が大きく、身体的発育に心理的発達が伴わない場合もある。 ○ 個々のこどもの性的な発達段階や性への興味・関心に応じ、心や身体の発育や発達に関して正しく理解することができるよう、性に関して学ぶ機会を多く作ることが重要である。
(4)	おおむね13歳以降 (思春期)	○ 思春期は、こどもから大人へと心身ともに変化していく大切な時期であり、第二性徴などの身体的変化や精神的変化に戸惑いを感じる時期である。こうした戸惑いと親からの自立を目指した一連の動きは、反抗的あるいは攻撃的な態度として表れることも多く、家族を含め周囲の大人の対応によっては情緒的・精神的に不安定となる危険性がある。 ○ この時期、共通の立場にある仲間とお互いに共感し心を通じ合わせることで、危機を乗り越えていくことも可能となる。 ○ 一方で、同じ年齢や同性の仲間との間に生じるストレスや心理的ショックなどが「劣等感」となって定着してしまうこともある。 ○ 思春期前に培われた自己有能感を基盤として、大人とだけではなく仲間との関係性も重視し、進学や就労など次のステージに向かう力が生まれるようにサポートすることが求められる。 ○ 個々のこどもの性的な発達段階や性への興味・関心に応じ、心や身体の発育や発達に関する正しい理解をもとに適切な行動をとることができるよう、性に関して学ぶ機会を多く作ることが重要である。

療育活動の系統化

【目指すこと】

思考 :	自己否定	→	自己肯定
感情 :	不安定	→	安定
行動 :	(うまく) できない	→	(よく) できる

① 【系 統 型】

量	: 少	→	多い
難易	: 易	→	難
集団	: 個	→	集団
つくり	: 単純	→	複雑
視点	: ソロ	→	マルチ
自立	: 手伝ってもらって	→	ひとりで

② 【問題解決型】

イベント・活動そのものと付随する療育活動

体験活動の「それダメ×」「それマル○」

「それダメ×」 活動のみのやりっぱなし！

「それマル○」

【箱入り娘お嬢型】

失敗体験をしないよう、
体験が成功するよう
事前のお膳立てを徹底する

【野生児リベンジ型】

まずはどっぷり体験したあと、
リベンジの機会を設定し、
最後には体験が成功するよう
しっかり導いていく

療育活動の系統化

【② 問題解決型】

「火起こしてカレーを作ろう」 【やってみよう型】

事前

- ・ 火の起こし方を練習する
- ・ 危険認識を学習する
- ・ 一定時間、しっかり説明を聞く練習をする

事中

- ・ カレーの作り方を調べる
- ・ 必要な材料を買い物に行く
- ・ 火起こし体験を経験する
- ・ みんなと協力してカレーを作る

事後

- ・ 指導してくれたおじさんにお礼の手紙を書く
- ・ おうちの人と一緒にカレー作りをする

「本格工作にチャレンジしよう」 【室内体験型】

事前

- ・ 100円均一の工作セットで貯金箱を作る
- ・ 途中であきらめずに最後まで作り上げる
- ・ 自分が作った作品を大切に扱う

事中

- ・ 前年度の優秀作品と賞について説明を聞く
- ・ どんなものをどんな材料で作るか計画を立てる
- ・ 必要な材料を買い物に行く
- ・ マイ貯金箱を制作する

事後

- ・ みんなが作った作品の鑑賞会をする
(相互投票して事業所内表彰をする)
(互いのいいところをほめ合おう)

「地域の祭りに参加しよう」 【地域交流型】

事前

- ・ 町の資料館を見学し、地域の歴史を学習する
- ・ 一定時間、しっかり説明を聞く練習をする
- ・ 地域の祭りの神輿担ぎの様子をVTRで視聴する

事中

- ・ 町の歴史や地域の祭りについて、話を聞く
- ・ プレ神輿担ぎに参加する
- ・ 祭りの衣装を着て神輿担ぎ本番に参加する

事後

- ・ 家族と一緒に町の夜祭に参加する
- ・ (以後継続的に) 地域の清掃活動にボランティア参加する

「鳥獣センターへ行こう」 【目的地見学型】

事前

- ・ 集合の仕方を練習する
- ・ 公共の施設におけるマナーを学習する
- ・ 小グループで行動するためのルールをつくる

事中

- ・ 鳥獣センターにいる動物探しオリエンテーリング
- ・ 好きな乗り物を選んで乗る

事後

- ・ 撮影してきた写真をスライドで振り返る
- ・ 好きな動物の絵を描く

療育活動の系統化

年間の構想・月ごとの構想・週ごとの構想

年間

【春】『自己紹介をしよう』

「自分を知ろう」

【夏】『夏祭りをしよう』

「友だちを知ろう」

【秋】『秋を食べよう』

「友だちと協力しよう」

【冬】『ボランティア訪問しよう』

「成長を振り返ろう」

月

今月のテーマ：「ともだちのいいところ探し」

・ みつけたらカードに書いて壁に掲示しよう

週

今週の目標：「おもちゃの片付けがんばり週間」

・ おもちゃ片付け名人の帰りの会発表

療育活動の系統化

ストーリーをつくる

時期

ねらい

4月

～

3月

～ **のテーマ・年間行事** ～

4月～6月

～出会い 自分を知る～

- ・個別相談会
- ・講演会

7月～9月

～友達を知る～

- ・工場見学
- ・ながしそうめん
- ・保護者様と一緒にBBQ

10月～12月

～関係を築く～

- ・ハロウィン
- ・社会見学
- ・クリスマス会
- ・もちつき大会

1月～3月

～新しい出会いに向けて！～

- ・講演会
- ・保護者会
- ・個別相談会

～ **週間行事** ～

施設名	月曜日	火曜日	水曜日

2020年 3月 活動予定表

活 動 内 容	持 ち 物	算○/脳○	弁当	支援目的	S-M
1 日					
2 月	感覚統合	指先エクササイズ	●	指先の運動	74
3 火	買い物活動	駄菓子屋ひかり	○	買い物遊び	40
4 水	感覚統合	ひかり/すてっぶ:目隠しチャレンジ ねくすと:リミックス	●	—	
5 木	SST	じゃんけんゲーム	●	いろいろな遊び方	63
6 金	工作	作って遊ぼう		道具の貸し借りができる	47
7 土	SST 運動	ボールでレクリエーション ハドル・スポーツクラブ	○	ルールを守って遊ぶ	31
8 日					
9 月	SST	クイズに挑戦	●	意見を伝えることができる	63
10 火	SST	ゲームdeおやつ	○	順番を守る	31
11 水	感覚統合	ひかり:リミックス / ねくすと:体操 すてっぶ:体力測定	●	—	
12 木	工作	お部屋を飾ろう	●	道具を正しく使える	41
13 金	感覚統合	サイレントゲーム		静かにできる・注視する	20
14 土	感覚統合 運動	リズムゲーム ハドル・スポーツクラブ	○	合図に合わせて遊ぶ	61
15 日					
16 月	工作	4月のカレンダーを作ろう	●	はさみの使い方	48
17 火	買い物活動	駄菓子屋ひかり	○	買い物遊び	40
18 水	感覚統合	ひかり:体操 / ねくすと:リミックス すてっぶ:アイロンビーズ	●	—	
19 木	SST	チームで遊ぶ	●	協力して楽しむ	78
20 金					
21 土	感覚統合 運動	音楽遊び ハドル・スポーツクラブ	○	集団遊び	83
22 日					
23 月	感覚統合	バランスゲーム	●	からだの使い方	41
24 火	工作	花飾りを作ろう	○	いろいろなどを考える	39
25 水	訓練	避難訓練	●	静かに話が聞ける	37
26 木	外出活動	体育館で遊ぼう	●	順番を守る	30
27 金	買い物活動	ドーナツを買いに行こう	○	買い物の計画を立てる	94
28 土	外出活動	ひかり:おつかいミッション ねくすと:地域交流会	○	—	
29 日					
30 月	クッキング	おやつクッキング	●	簡単な調理ができる	101
31 火	イベント	お楽しみ会	○	約束を守って楽しむ	71

クッキングセット
エプロン・三角布・マスク・ハンドタオル

お財布
お財布にお金を入れてくる

ハドル・スポーツクラブ
運動しやすい服装・タオル
・多めのお茶(水)

※ 弁当: ○ 注文または持参
× クッキングのため不要
※ 都合により予定変更する場合があります。
・算数教室及び脳機能バランスの申込はHUG上の備考欄にてお願いします。

療育活動の系統化

ストーリーをつくる

2020年	年間行事			
	四半期目標	創作活動	心理面談裏プロ・イベント	誕生日
4月	<u>自己課題</u> 自己を見つめる。自身 のことと向き合う。	●お守りづくり	○心理劇 役を演じるということに なれる	
5月		●スクイーズづくり ～握って安心、フワフワス クイーズ～		
6月		●立体アートづくり ～自分の世界を箱に表現～		
7月	<u>自己:集団</u> 集団の中に存在する意 義しながら、自身の役 割的意識を芽生えさせ る。	●夏祭り創作	◆ 夏祭り	
8月		●創作物語リレー ～物語をつなぐ～		
9月				
10月	<u>集団に対する意志 的な行動の芽生え</u> 集団の中に対する自己 ポジションの確立	●陶芸器づくり	◆ハロウィンイベント	
11月		●草木染め体験		
12月		●身だしなみミラーづくり ～お気に入りの服で身だしなみ を整える～	◆クリスマスイベント ～1年の集大成をみせる～	
1月	<u>自己の統合</u> 「〇〇が出来た」「△ △は出来なかった」な どの両面的な感情の受 容。自己の成長を振り返る。	●初筆書き体験 ～私・僕の1年はどうする?～		
2月		●革細工キーホルダー ～誰に贈る?～	◆節分イベント	
3月		●香り袋づくり ～かいで落ち着く～	◆ 卒業式	

2020年	年間行事	四半期目標	創作活動	作業学習・イベント	誕生日
4月	<慣れる時期> ・生活リズムを整える ・不安を軽減		□ソルトペインティング (江口) (情緒の安定)	□サーキット □体幹トレーニング	
5月			□ボトルドーム(山田) (不安癒す)	□サーキット □体幹トレーニング	
6月			□クレイアートクッキーマ グネット(江口) (創造性・巧緻性)	□サーキット □体幹トレーニング	
7月	<体づくり> ・粗大運動で自己の 体の意識作りと、コ ントロールを図る			□サーキット □体幹トレーニング ■音楽療法(リトミック)	
8月				□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り(作業学 習)	
9月			□叶①創作活動への挿絵書 き(江口) ストレス軽減、発信	□サーキット □体幹トレーニング (■音楽療法(リトミック))	
10月	<整える時期> ・実習等が始まり リズムが乱れる予 想、安定できるグ ッズや行事等を通して 変わらない安心を得 る		□空き缶ペイント(松尾) 《感覚課題・育成によるリ ズム作り》	□サーキット □体幹トレーニング	
11月			□アドベントカレンダー作 り(安田) (見通しの安 心)	□サーキット □体幹トレーニング	
12月			□門松作り(江口) (1年の締めくくりの意 義を持つことでリズムを作 る)	□サーキット □体幹トレーニング	
1月	<来年度へ向けての 意識作り> ・心構え ・自己成長の振り返り			□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り (作業学習)	
2月			□つるしびな(安田) (季節の意識)	□サーキット □体幹トレーニング ■節分イベント「豆まき」(山 田)	
3月			□アルバム作り(坂口) (自分の成長を確認する)	□サーキット □体幹トレーニング □お別れ会 3月29日	